

2024 年 9 月 13 日

NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社

IR Day2024 主な質疑応答（要旨）

9 月 13 日(金)に動画配信および対面形式にて IR Day を実施しました。寄せられた質問と当社説明は下記の通りです。

【セッション 3_サステナビリティ：「サステナビリティ経営戦略」

スピーカー：NXHD 代表取締役社長 堀切 智、常務執行役員 大槻 秀史

執行役員 岸田 博子】

Q1. 非財務情報の開示の充実は重要であり、投資家視点では将来的な財務指標に昇華する必要があると考えている。IT 戦略にも関連して、事業ポートフォリオ改革を推進していく中で、人財のスキル変化や充足率、スキルアップのための投資をどう進めるかが課題である。このデータの蓄積やタレントマネジメントの可視化を通じて、財務データと非財務データを統合管理し、将来的な財務面でのインパクトの先行指標とすることが出来ないか。今後の考え方として、将来の財務につながるデータドリブン戦略について教えてほしい。

A1. CSRD の取り組みを進める中で、人財データをグループ内でどのように統合していくか。財務的な材料として DX 等と結びつけて管理・活用する方法については、今後具体的に協議する必要がある。直近取り組みもうとしているのは、各国や地域で異なる人財データの定義を統一し、NX としてその価値を可視化し、将来的な財務データに結びつけることを目指している。

Q2. エンゲージメントサーベイは 5 ポイントの改善を目標としている。これまでの収益性向上の経営戦略の実行は現場に依存しているため、エンゲージメントサーベイを通じてやる気を引き出し、能力を発揮させることが重要である。拠点別や店所別にどのように取り組むのか、収益性の改善とサーベイ結果の分析を行う予定があるかを伺いたい。これにより、サステナビリティ経営が経営戦略と整合し、連動していると言えるのではないかと考えているが、どのように考えているか教えてほしい。

A2. エンゲージメントサーベイは人財戦略統括部が主導して進めている施策である。その結果をどのように活用するかについては、拠点や事業ごとにばらつきがあるため、人財戦略統括部を中心に検証を進める予定である。現時点においては、従業員の満足度やエンゲージメントを高める施策の一つとして、ポスカリ制度を導入し、従業員が現在の仕事以外にも職域を広げるチャンスを提供し、経験値を上げることで会社に貢献する仕事の広

がりや人的ネットワークの拡充を図っている。これをさらに発展させ、どのような人財戦略に結びつけるかについては、中長期的なサステナビリティの取り組みの一環として考えていく予定である。

補足として、人財戦略における非財務的な要素を収益性に結びつける方法や財務的な価値とのリンク、見える化については、まだ遅れていると認識している。現在の人財戦略の主な取り組みは、エンゲージメントを向上させることに焦点を当てており、財務的な価値に結びつく前段階である。さらに、国内ビジネスからグローバル事業への移行に伴い、求められる人財の質や構成が変わってきている。この変化に対応するため、有能な人財の確保とモチベーションの向上に注力している。現在、人財戦略担当の役員が各リージョンを回り、課題の抽出やグローバル展開の可能性について議論している。今後は、これらの取り組みをどのように測定し、見える化していくかが課題となる。この点に関して、ご指摘通り、現状においてはかなり遅れていると捉えている。

以 上